

第72期

IR Report 株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日



SUGITA ACE

中期経営計画コミット600の4年目が終わりました。
新規事業の成長と営業部門の終盤の追い込みにより、
来期のコミット600達成が視野に入ってまいりました。

全国に流通センターが完備、EC事業やイザメシ事業の躍進などにより良い形で第72期の決算を締めくくることができました。積極的に新卒採用を実施し、当社の平均年齢もさらに若返り、組織の活性化に大きく貢献しております。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当事業年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の「株主通信」をお届けするにあたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対し心より厚く御礼申し上げます。

Q 第72期の総括

創業80周年を節目に「コミット600」をスローガンに掲げスタートした中期経営計画の4年目が終わりました。既存事業におきましては、西日本はまずまずでしたが、エンジニアリング事業が苦戦しました。収益は、年度末まで厳しい予測でしたが、最終月の驚異的な追い上げにより増収増益で終えることが出来ました。

当社グループの業績は、売上高57,062百万円（前連結会計年度比2.0%増）、営業利益880百万円（同10.7%増）、経常利益999百万円（同8.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益637百万円（同9.5%増）となりました。

TOP INTERVIEW



Q コミット 600 の 4 年目を振り返って

69 期より新たな中期 5 カ年計画がスタートしました。それは「コミット 600」と「20:20(トウエンティー・トゥ エンティー)」です。2018 年度に年商 600 億円を達成し、東京オリンピックが開催される 2020 年度には営業利益 20 億円を達成するという目標です。

市場力パー率と卸としての基盤を毎年強化してきましたが、72 期は名古屋流通センター開設に伴い名古屋営業所も移転し、中部地区の営業とデリバリーのスピードが大幅に向上しました。

昨年度大きく成長した IZAMESHI ですが、累計で 250 万個の出荷を達成しました。ホームセンター 650 店、GMS180 店、小売店 100 店と売場合計数でも 930 店になり、73 期は 1000 店を達成する予定です。Deli シリーズ、マフィンシリーズで新商品が発売されラインナップが拡大しております。備えあれば憂いなしの言葉通り、1 人 3 日分の保存食セット「デイリーイザメシ」、被災した際にオフィスで 1.5 日安心して過ごすための「オフィスイザメシ」などさまざまな状況を想定した商品も新規投入しました。また、昨年 12 月クラブエスタショップ南青山がリニューアルオープンし、インテリアグリーンブランド「PIANTA × STANZA」も併設いたしました。

総括しますと、屋台骨である既存事業の 3 月売上 67 億円という追い込みもあり「コミット 600」達成が視野に入っていました。

Q 第 73 期にむけての事業戦略

今年はいよいよコミット 600 の最終年度です。今春は 23 名の新入社員が入社しました。近年では、新卒採用を

強化してきましたので平均年齢も若くなり、組織が活性化してきました。今後も人材の確保と教育には力を注いでまいります。

今年度中には新 EC サイト「スギカウ」がスタートいたします。今年の 6 月には敷地



面積 2041㎡延床面積 2311㎡の広さを誇る新福岡流通センターがオープンしますので九州地区のデリバリーも大幅に強化されます。さらに中部、九州、甲信越エリアを中心にサテライト倉庫の新設や、また最新の WMS(倉庫管理システム) の導入の準備も進めており、より一層のデリバリーの強化を目指してまいります。

今秋には、簡易トイレ minimLET が販売開始予定です。IZAMESHI におきましては、うどん缶 3 アイテムを新発売する予定です。さらにはイザメシカフェのオープン、イザメシが大手老舗百貨店グループのギフトに採用予定など今後も新しいチャレンジを続けてまいります。

これからも株主の皆さまのご期待にそえるよう、社員一同精進し、コミット 600 を達成させたいと思っております。

今後とも、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ニュースダイジェスト

2017年4月～2018年3月

2017年

4月 中部営業部名古屋営業所と名古屋流通センターが開設

当社は中部地域へのサービス向上を目指し、4月3日より中部営業部名古屋営業所と名古屋流通センターを開設しました。1日2便の商品配送を実施いたします。

【住所】〒462-0062 愛知県名古屋市中区新沼町 85-1

【TEL】052-901-5121 【FAX】052-901-5150



2017年

5月 アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」2017年新作コレクション販売開始

アウトドアファニチャー パティオ・プティは、テラスにぴったりなコンパクトサイズのテーブルやチェアから、パラソル・ベンチ・ソファなど豊富なバリエーションを展開しています。2017年モデルは、人エラタンをあしらったサハラシリーズを中心に8アイテムがラインナップに加わりました。



2017年

6月 「ウメキタ!!! GLAMPING&RESORT」にclub ESTA SHOPの期間限定ショップがオープン

ガーデン、アウトドアグッズを中心にライフスタイル雑貨を展開する「club ESTA SHOP(クラブエスタショップ)」は、2017年6月大阪うめきたにオープンした、アウトドアを体感できる「ウメキタ!!! GLAMPING&RESORT」に期間限定ポップアップショップをオープン。



2017年

6月 イザメシシリーズ 新商品「OFFICE IZAMESHI (オフィスイザメシ)」発売

長期保存食『OFFICE IZAMESHI (オフィスイザメシ)』を2017年6月より販売スタート。職場で災害に遭遇したときに、社内待機のために必要な水、食料、毛布、トイレをセットにし“身近に備える”“すぐに使える”をコンセプトにした備蓄ユニットです。



2017年

7月 第12回 国際雑貨EXPO(夏)に出展しました(東京ビッグサイト)

国際雑貨EXPOは、ギフト雑貨、インテリア雑貨、生活雑貨などが世界中から一堂に出展する雑貨・小物の商談専門の展示会です。杉田エースの美味しい長期保存食イザメシや、クラブエスタのガーデン用品、輸入雑貨は、多くのお客様に興味を持っていただきました。



2017年

7月 建築金物見本市 SUGIFES2017を開催

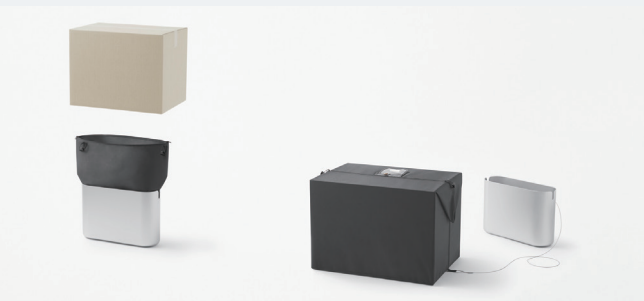
6月30日(金)・7月1日(土)の2日間、東京ドームシティ プリズムホールにて、「SUGIFES2017」を開催いたしました。受注目標の160億円を達成し、動員についても、目標の6000人を達成いたしました。当社の「IZAMESIと雑貨」コーナーは人気でした。



2017年

10月 宅配ボックス「oitec | オイテック」のスペシャルエキシビジョンをクラブエスタショップにて開催

杉田エースと佐藤オオキ率いるデザインオフィス nendoが手がける宅配ボックス「oitec | オイテック」のスペシャルエキシビジョンを開催しました。本展示では、「oitec」のデザインコンセプトや実物大の模型などを展示し、今までにない宅配ボックスは大好評でした。



2017年

12月 club ESTA SHOP 南青山 内にインテリアグリーンブランド「PIANTA × STANZA」のショールームがオープン!

南青山の「club ESTA SHOP(クラブエスタショップ)」は、店舗の一部をリニューアルし、新たにインテリアグリーンブランド「PIANTA × STANZA 南青山ショールーム」を併設いたしました。ピアンタ・スタンツァは、(株)緑演舎が展開するインテリアグリーンブランドです。



club ESTA SHOP南青山内にインテリアグリーンブランド 【PIANTA×STANZA】のショールームがオープン

club ESTA SHOP（クラブエスタショップ）は、杉田エースが手がけるアウトドアファニチャー「PATIO PETITE」、長期保存食「IZAMESHI」、防災グッズ「MINIM+AID」などのオリジナル商品を中心に、国内外からセレクトした雑貨を販売するライフスタイルショップです。現在、東京・南青山店、大阪・近鉄あべのハルカス店の2店舗を展開しています。PIANTA × STANZA は、株式会社緑演舎が展開するインテリアグリーンブランドです。壁掛けインテリア「my gallery（マイギャラリー）」をはじめとする、日常の様々なシーンにグリーンを導入できるオリジナルプロダクトを開発し、グリーンのある暮らしの提案を行っています。club ESTA SHOP 内に併設される【PIANTA × STANZA 南青山ショールーム】では、鉢植えを中心に PIANTA × STANZA のオリジナルプロダクトを展示販売するほか、常駐する植物のプロフェッショナルスタッフが住まいのグリーンコーディネートから商業施設・オフィスのグリーンデザインまで対応いたします。





■基本情報

PIANTA×STANZA南青山ショールーム

オープン日: 2017年12月1日(金)

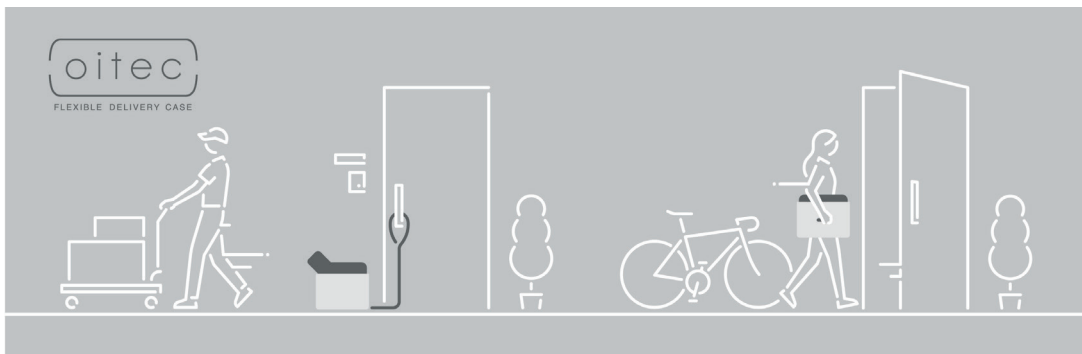
所在地: 東京都港区南青山5-12-27

club ESTA SHOP南青山内

営業時間: 11:00 - 19:00(火曜定休)

TEL: 03-3498-5151

「バッグインケース」型の 宅配ボックス



コンパクトながらくたっぷり>大容量。

小さい荷物は、ケース内のバッグにそのまま収納。それ以上のサイズの荷物は、中のバッグをケースの外に取り出すことで収納ができます。(小さい荷物＝W410×D130×H280まで)

大開口設計で荷物の出し入れスムーズ。

感覚的にわかりやすく、スムーズな収納ができるよう、バッグの口を大きくし、バッグ内側の底面の色を変えています。

あらゆる場所に設置できるセキュリティ設計

セキュリティケーブルがケースとバッグをつなぎ、さらにそのケーブルが玄関先の格子や柵、ボールをつなぎます。格子や柵などが無い場合は、セキュリティケーブルの先端に「いかり」のような役割を果たすキューブを取り付け、ドアに埋め込まれたポストの投函口などに固定できるようにしました。

安心受け取り仕様

配達人が迷わないよう、ケース外側にプレート状の使用説明書が取り付けられます。裏面が全面無地のホワイトボード仕様で、配達人や近隣住民への書き置きができるようになっています。

New Product

長期保存食「IZAMESHI」の、心まで温まる麺シリーズ。
缶にお湯を注ぐだけで、美味しくお召し上がり頂けます。



長期
保存

294
kcal

83.4_g

Kitsune
Udon

調理イメージ

IZAMESHI
麺

おだしじんわり きつねうどん

いつでもおいしい! どこでもおいしい!



おだしじんわりきつねうどん

カツオと昆布の風味が効いたスープと、甘いお出汁が染みこんだ油揚げ、のどごしが決め手の本格的なうどんをお召し上がりください。



もちもちお餅のちからうどん

爽やかな柚子の風味と、もちもち食感のお餅、しっかり手延べ麺でボリューム満点のうどんに仕上げました。



和風だしが香る鶏南蛮カレーうどん

ここに染み入る和風のお出汁とまろやかスパイスがポイント、食べ応えしっかりのカレーうどんに仕上げました。

業績・財務ハイライト

営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等に影響されるところはありましたが、政府や日本銀行による各種政策の効果により雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復が続きました。

住宅建設業界におきましては、首都圏のマンション総販売戸数は持ち直しの動きが見られましたが、持家と分譲住宅の着工は横ばいとなり、貸家の着工は緩やかに減少した結果、全体として弱含みで推移しました。

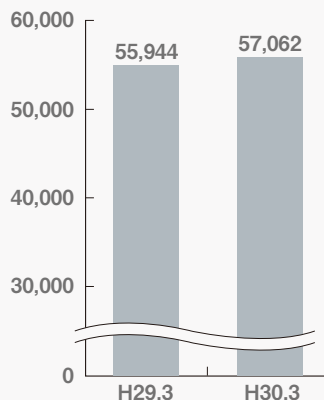
このような状況の中、当社グループは新たに名古屋流通センターを開設し継続的な物流体制強化を図りました。また、防災用品や長期保存食等の新商品による新規事業分野の開拓を実施して参りました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高 57,062 百万円（前連結会計年度比 2.0% 増）、営業利益 880 百万円（同 10.7% 増）、経常利益 999 百万円（同 8.2% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益 637 百万円（同 9.5% 増）となりました。

連結財務ハイライト

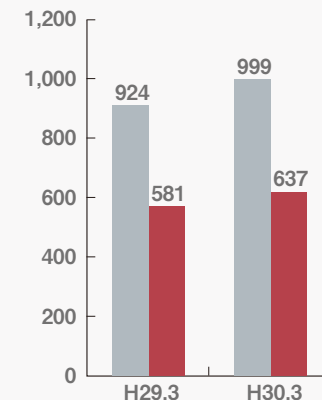
売上高

(百万円)



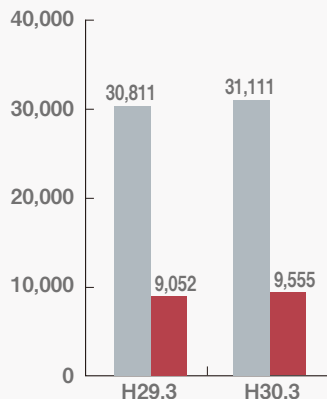
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円) ■経常利益 ■親会社株主に帰属する当期純利益



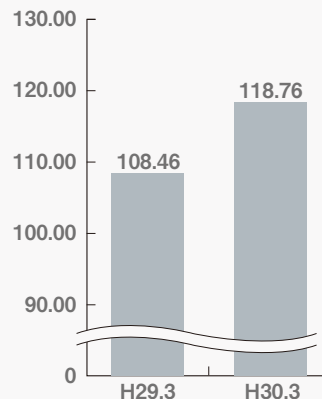
総資産／株主資本

(百万円)

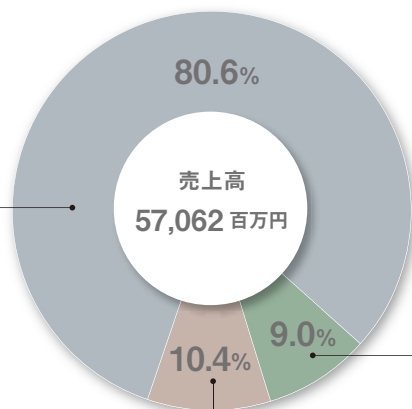


1株当たり当期純利益

(円)



セグメント状況



45,977 百万円

ルート事業

ルート事業は、住宅用資材及びビル用資材等を、二次卸・金物店・建材店等へ販売しております。

住宅用資材は、錠前関係商品及び吊り戸金物等が伸長した建具商品、ポスト関連商品及び換気口関連商品等が伸長したマンション住宅商品、カーテンレール及びブラインド等が伸長したインテリア商品、接着剤及びアルミ建材等が伸長した建設副資材がそれぞれ好調に推移し、売上高は 21,513 百万円（前連結会計年度比 31%増）となりました。

ビル用資材は、階段廻り商品等が減少した福祉商品は低調に推移しましたが、屋上ベランダ廻り商品及び窓廻り商品が伸長したビル用商品、エクステリア関連商品等が伸長した景観商品がそれぞれ好調に推移し、売上高は 22,487 百万円（同 2.8%増）となりました。

ルート事業で展開しておりますDIY商品は、プロショップ向け商品が伸長し、売上高は 472 百万円（同 12.5%増）となりました。

この結果、ルート事業全体の売上高は 45,977 百万円（同 3.0%増）となりました。

5,971 百万円

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業は、住宅用資材及びビル用資材等を、建材店・販売工事店等へ、独自のノウハウによる設計・加工・施工等の付加価値を加味して販売しております。

住宅用資材は、アルミ建材等及び住宅建材が伸長した建設副資材が好調に推移しましたが、丁番関係商品等が減少した建具商品、物干関連商品及びポスト関連商品等が減少したマンション住宅商品、ピクチャーレール等が減少したインテリア商品が、それぞれ低調に推移し、売上高は 1,812 百万円（前連結会計年度比 6.2%減）となりました。

ビル用資材は、屋上ベランダ廻り商品が伸長したビル用商品は好調に推移しましたが、階段廻り商品等が減少した福祉商品、門扉フェンス等のエクステリア関連商品が減少した景観商品がそれぞれ低調に推移し、売上高は 3,441 百万円（同 3.1%減）となりました。

この結果、エンジニアリング事業全体の売上高は 5,971 百万円（同 4.3%減）となりました。

5,113 百万円

直需事業

直需事業は、ホームセンター、通販会社、百貨店等、一般小売店向けのDIY商品、及びOEM関連資材、その他商品を販売しております。

DIY商品は、通販会社向け商品、長期保存食等がそれぞれ好調に推移しましたが、ホームセンター向け網戸等の季節商品を含めた一般消費者向け商品等が低調に推移し、売上高は 3,524 百万円（前連結会計年度比 0.7%減）となりました。

OEM関連資材は、住宅用商品の住宅戸建て及び賃貸向け錠前・クローザー等及びエクステリア関連資材であるポスト・物干関連商品等が好調に推移し、売上高は 1,588 百万円（同 4.8%増）となりました。

この結果、直需事業全体の売上高は 5,113 百万円（同 1.0%増）となりました。

決算レポート

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第71期 平成29年3月31日現在	第72期 平成30年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,922	23,661
現金及び預金	2,681	2,514
受取手形及び売掛金	16,854	16,323
たな卸資産	2,997	3,289
未収入金	1,200	1,338
繰延税金資産	150	158
その他	44	41
貸倒引当金	△ 5	△ 4
固定資産	6,888	7,450
有形固定資産	4,875	5,286
建物及び構築物	2,257	2,134
土地	2,469	2,873
その他	148	279
無形固定資産	162	306
ソフトウェア	74	60
その他	88	246
投資その他の資産	1,850	1,857
投資有価証券	1,025	1,057
繰延税金資産	131	101
その他	692	698
資産合計	30,811	31,111

科 目	第71期 平成29年3月31日現在	第72期 平成30年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	19,134	18,271
支払手形及び買掛金	6,840	6,772
電子記録債務	8,954	9,199
1年内返済予定の長期借入金	1,793	651
未払法人税等	381	384
賞与引当金	288	318
その他	876	944
固定負債	2,621	3,243
長期借入金	1,516	2,191
退職給付に係る負債	484	449
役員退職慰労引当金	478	457
その他	142	145
負債合計	21,755	21,514
(純資産の部)		
株主資本	9,052	9,555
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	7,949	8,452
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	4	41
その他有価証券評価差額金	71	88
退職給付に係る調整累計額	△ 67	△ 47
非支配株主持分	0	0
純資産合計	9,056	9,597
負債純資産合計	30,811	31,111

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第71期	第72期
	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成29年 3 月31日	自 平成29年 4 月 1 日 至 平成30年 3 月31日
売上高	55,944	57,062
売上原価	47,878	48,801
売上総利益	8,065	8,260
販売費及び一般管理費	7,270	7,379
営業利益	795	880
営業外収益	210	205
受取利息	1	1
受取配当金	23	22
仕入割引	121	122
投資有価証券売却益	12	—
受取家賃	33	36
その他	18	21
営業外費用	81	86
支払利息	17	13
手形売却損	11	13
売上割引	51	57
その他	0	1
経常利益	924	999
特別利益	0	30
固定資産売却益	0	30
特別損失	10	0
固定資産除売却損	0	0
災害による損失	10	—
税金等調整前当期純利益	913	1,029
法人税、住民税及び事業税	371	384
法人税等調整額	△ 39	8
当期純利益	581	637
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	581	637

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第71期	第72期
	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成29年 3 月31日	自 平成29年 4 月 1 日 至 平成30年 3 月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	913	1,209
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 500	△ 545
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 535	△ 601
現金及び現金同等物の 増減額（△減少額）	△ 121	62
現金及び現金同等物の 期首残高	2,573	2,451
現金及び現金同等物の 期末残高	2,451	2,514

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	697	409	7,949	△ 4	9,052	71	△ 67	4	0	9,056
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△ 134	-	△ 134	-	-	-	-	△ 134
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	637	-	637	-	-	-	-	637
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	16	20	37	0	37
当期変動額合計	-	-	503	-	503	16	20	37	0	540
当期末残高	697	409	8,452	△ 4	9,555	88	△ 47	41	0	9,597

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

株式の状況

(平成30年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式の総数 普通株式 19,490,000 株
 ②発行済株式の総数 普通株式 5,374,000 株
 ③株主数 3,871 名

大株主

(平成30年3月31日現在)

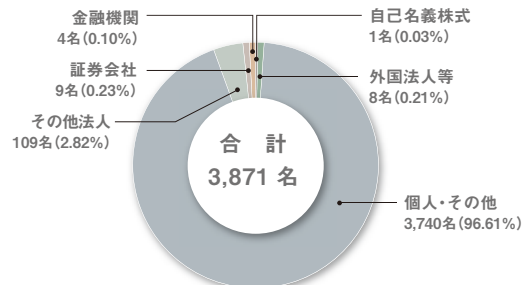
株主名	持株数	持株比率
杉田直良	906,000 株	16.89%
有限会社 杉田商事	730,000 株	13.61%
杉田エース従業員持株会	273,412 株	5.10%
杉田裕介	260,000 株	4.85%
株式会社 三井住友銀行	195,000 株	3.64%
東京中小企業投資育成 株式会社	159,500 株	2.97%
株式会社 ダイケン	93,800 株	1.75%
株式会社 千葉銀行	72,000 株	1.34%
杉田力介	70,000 株	1.30%
株式会社 LIVNEX	65,800 株	1.23%

(注) 持株比率は自己株式(8,833株)を控除して計算しております。

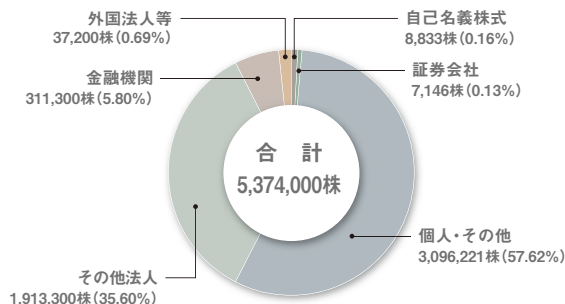
株式分布状況

(平成30年3月31日現在)

株主別分布状況

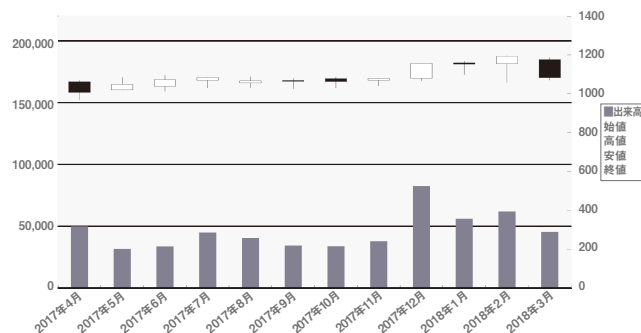


所有株式数別分布状況



株価の推移

(平成30年3月31日現在)



会社情報

会 社 概 要

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

商 号	杉田エース株式会社
所 在 地	東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号
設 立	昭和 23 年 9 月
資 本 金	697,240,600 円
従業員数	532 名（グループ合計）
主 な 事業内容	当社は、住宅用資材、ビル用資材、DIY 商品及び特定需要家向け OEM 関連資材及び自社ブランド商品の卸売業を行っています。

主 な 事 業 所

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

本社事務所	東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号
営業部等	北海道・東北・東京・西関東・北関東・中部・近畿・中四国・南日本・エンジニアリング・直需
流通センター	千葉・埼玉・大阪・大宮・仙台・札幌・成田・福岡・名古屋
グループ会社	トクダマシモエース株式会社 水沢エース株式会社

取締役及び監査役並びに執行役員

(平成 30 年 6 月 28 日現在)

代表取締役会長	杉 田	直 良
代表取締役社長	杉 田	裕 介
常 務 取 締 役	佐 藤	正
常 務 取 締 役	杉 田	力 介
取 締 役	我 謝	宗 厚
取 締 役	花 井	慎 一
取 締 役	高 橋	芳 郎
取 締 役	長 島	俊 夫
取 締 役	島 田	直 樹
常 勤 監 査 役	北 川	達 也
監 査 役	田 中	康 一
監 査 役	内 山	芳 男
執 行 役 員	瀧 山	吉 彦
執 行 役 員	大 石	尋 貴
執 行 役 員	蜷 木	勝 一
執 行 役 員	滝	昇 悟
執 行 役 員	小 林	寛
執 行 役 員	井 関	誠
執 行 役 員	昆 布	光 正
執 行 役 員	新 谷	晃 一
執 行 役 員	上 田	嘉 信
執 行 役 員	清 野	賢 太
執 行 役 員	黒 圖	高 広
執 行 役 員	岡 田	努
執 行 役 員	萩 原	裕 司

(注) 1. 取締役 長島俊夫・島田直樹の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役 田中康一・内山芳男の両氏は社外監査役であります。

株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の、株主名簿に記録されている100株以上ご所有の株主の皆さまを対象に、当社取扱商品を贈呈します。
平成30年3月期末は「IZAMESHI(イザメシ)」1セットを贈呈します。



SUGITA ACE

株主メモ(株主のご案内)

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	(郵便物送付先)
■定時株主総会	毎年6月開催	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
■基準日	定時株主総会 毎年3月31日	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	期末配当金 毎年3月31日	(電話照会先) ☎ 0120-782-031
	中間配当金 毎年9月30日	(インターネットホームページ URL)
	その他必要があるときは、	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
	予め公告して定めた日	
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	■公告掲載新聞 日本経済新聞
■株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	株式に関する住所変更等の届出及びご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等の届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

杉田エース株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑二丁目14番15号
TEL.03-3633-5150 FAX.03-3633-5023

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

<http://www.sugita-ace.co.jp>